

## 小海町の水防倉庫の点検と重要水防区域の確認を行いました

近年、これまでの記録を超える降雨量などが各地で観測され、特に局地的な集中豪雨による中小河川の洪水が多く発生しています。このような自然的状況の変化等から、地域防災力の一つである水防活動の重要度が大きくなってきている状況です。

今回、小海町を対象として、水防活動の核となる水防倉庫における水防資器材の備蓄状況を点検し、あわせて小海町地域防災計画に記載されている重要水防区域を確認しました。

河川管理者である佐久建設事務所、水防倉庫を管理し地域防災計画を担当する小海町町民課、産業建設課、及び地域防災力の担い手として小海町消防団及び長野県建設業協会南佐久支部(小海町に本社のある7者)が参加して、10月17日に実施しました。

河川の越水等の災害時において、水防資器材の備蓄状況や重要水防区域を把握する中で、官民および地域住民が協力して、迅速に対応していくことを目的としています。



①参加者へ連絡事項を伝達しています



②水防倉庫の点検を開始しました



③水防倉庫内での点検状況です



④重要水防区域を確認しています

今回の小海町水防倉庫及び重要水防区域等点検を実施したことにより、今後災害時には、地域に根ざした建設産業と行政、地域住民の連携を強化し、地域防災活動を積極的に行うとともに、「災害に迅速に対応できるネットワーク」を構築し、地域の防災意識の高揚と機能のレベルアップを図ることを目標とした活動の一助となりました。